

国営飛鳥歴史公園キトラ古墳周辺地区の整備

平成27年7月
国営飛鳥歴史公園事務所



国土交通省

国営公園の概要

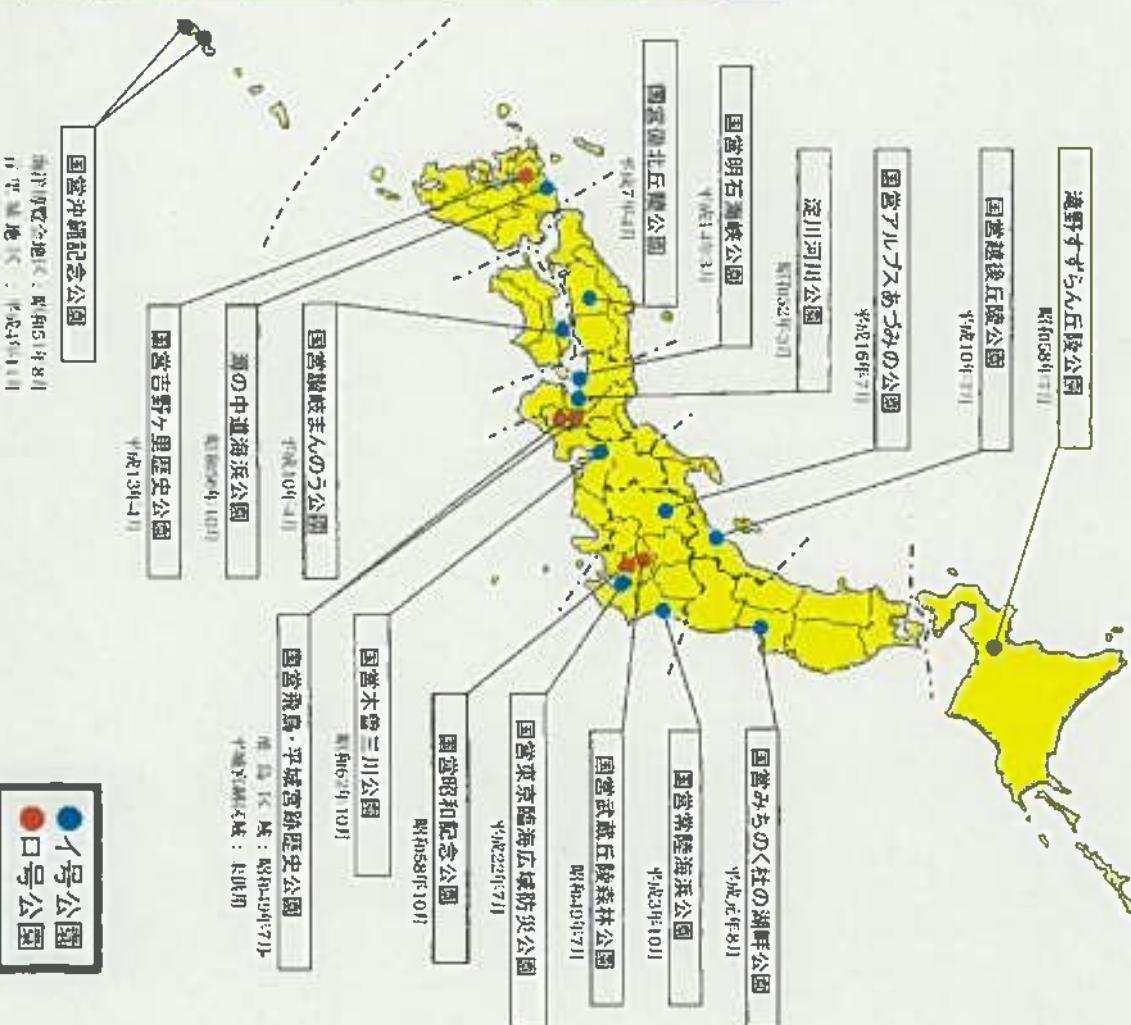
■現在、国において17箇所の国営公園の整備及び管理を実施

- 一の都府県の区域を超えるような広域の見地から設置されるイ号公園 (12ヶ所)

保存及び活用を図るため閣議の決定を経て設置される口号公園(5ヶ所)

口号公園における閣議決定

公園名(地区名)	閣議決定	事件名
国営武蔵丘陵森林公園	昭和43年10月18日	明治百年記念事業として行う国営森林公园
観戸地区 石舞台地区 甘樺丘地区	昭和45年12月18日	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策について
高松塙周辺地区	昭和51年10月29日	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環としての都市公園の整備について
歴史公園 キトラ古墳 周辺地区	平成13年3月16日	飛鳥地方における歴史的風土及び文化財の保存等に関する方策の一環としての都市公園の整備について
平城宮跡地区	平成20年10月28日	我が国固有の優れた文化的資産である平城宮跡の保存及び活用を図るために都市公園の整備について
海洋博覧会地区	昭和50年7月15日	沖縄国際海洋博覧会を記念する公園の設置
国営沖縄記念公園	昭和61年11月28日	沖縄復帰記念事業として行う都市公園の整備
国営昭和記念公園	昭和54年11月30日	天皇陛下御在位五十年記念事業として行う国営昭和記念公園の設置
国営吉野ヶ里歴史公園	平成4年10月27日	我が国固有の優れた文化的資産である吉野ヶ里遺跡の保存及び活用を図るために都市公園の設置について



※□:国営公園名と第1期開園年月

国営飛鳥歴史公園の概要

► 「国営飛鳥歴史公園」は、我が国固有の優れた文化的資産の保存及び活用を図るため設置された国営公園である。

■位置図



■設置経緯

昭和45年
(1970年)

- ① 石舞台地区
- ② 甘樺丘地区
- ③ 祝戸地区

・以下の3地区の設置に関する閣議決定

昭和51年
(1976年)

- ・国営公園制度の確立(都市公園法改正)
→ 上記3地区が国営飛鳥歴史公園となる。
- ・高松塚周辺地区の設置に関する閣議決定

平成13年
(2001年)

- ・キトラ古墳周辺地区の設置に関する閣議決定

国営飛鳥歴史公園の概要

国営飛鳥歴史公園は、祝戸、石舞台、甘樺丘、高松塚周辺地区(13.8ha)の整備を進めているところ。

● 甘樺丘地区 ● 25. 1ha
蘇我蝦夷・入鹿の邸宅があつたとされる
甘樺丘に、飛鳥古京・大和三山が望める
展望広場や散策園路を設置。



● 高松塚周辺地区 ● 9. 1ha

飛鳥を代表する壁画古墳である
高松塚古墳の周辺を環境整備。



高松塚古墳

● キトラ古墳周辺地区 ●

13. 8ha
(H28供用予定)

キトラ古墳
周辺環境の
保全・体験
学習の場を
整備。



● 石舞台地区 ● 4. 5ha
蘇我馬子の墓と伝えられる石舞台古墳を中心に、
周囲の棚田地形を活かした芝生広場などを整備。



石舞台古墳

● 祝戸地区 ● 7. 4ha

飛鳥古京や棚田を一望できる
展望台のほか研修宿泊所を配置。

展望台



研修宿泊所
(祝戸荘)



高松塚周辺地区の概要

▶ 高松塚周辺地区は、昭和51年10月に国営公園として整備することが閣議決定。国の特別史跡高松塚古墳及び史跡中尾山古墳を含む地区で、遺跡・文化財と風土(景観)の保全を重視した整備を行っている。



自然の地形を活かし、公園広場から農地・山並みへとつづく谷筋の風景



国宝高松塚古墳壁画や石室など高松塚古墳について分かりやすく再現した高松塚壁画館



史跡中尾山古墳(奥)と周囲を囲む園路広場



特別史跡高松塚古墳(奥)と
一体となった公園の風景



国営飛鳥歴史公園における公園利用と管理の概要



国土交通省

明日香村や地域の観光団体、商工会等と連携した協働イベントを開催しながら、公園の利用促進、歴史的風土・文化の普及・啓発に取り組んでいる。また、飛鳥地域の美しい里山景観を保全・創出するため、万葉植物などで花修景を行い、来訪者に飛鳥らしい風景を楽しんでいただく取組を行っている。



古都飛鳥の歴史・文化を体感していただく蹴鞠行事



地域の団体と連携しながら、夏祭りや収穫行事を開催



ロウソクの炎で描いた「光の回廊」は公園だけでなく村全体で開催



飛鳥らしい風景の保全・創出のための万葉植物による花修景

キトラ古墳周辺地区の概要

➤ キトラ古墳周辺地区は、平成13年3月に国営公園として整備することが閣議決定。その後、平成18年3月に基本計画を策定し、周辺との一體的な調和を図りながら、古都飛鳥の歴史的風土を感じながら学習できる拠点整備を進めている(平成28年度開園予定)。

- もともとの耕田の地形を活かしながら、檜隈寺跡周辺の環境を一体的に保全
- 高松塚古墳周辺を望む眺望空間を創出

神宮寺跡周辺環境保全エリア



キトラ古墳周辺環境保全エリア

- キトラ古墳とその周辺を一体となった環境として保全
- 古墳の全容が見渡せる空間を季節感漂う野花などとともに創出



キトラ古墳周辺環境保全エリア

- キトラ古墳の存在を通じて体験的に、楽しくわかりやすく歴史を学べる場を創出
- 古代の風習や行事など、工夫をこらした企画を開催

歴史的風土保全活用エリア

- 渡来人がもたらした大陸文化や技術など古代飛鳥人の生活を体験できる場を創出
- 農体験などの活動を通して、農空間を守り育てる新たな仕組みづくりを展開



歴史体験学習エリア

- キトラ古墳の存在を通じて体験的に、楽しくわかりやすく歴史を学べる場を創出
- 古代の風習や行事など、工夫をこらした企画を開催



体験学習館の整備



国土交通省

► キトラ古墳壁画の保存・管理と併せ、古代飛鳥の技術や文化について、展示・体験・案内を通じて学習できる拠点施設として体験学習館を整備する。



体験学習館内には、文化庁により壁画の保全・管理施設を整備



世界最古の天文図と北壁の玄武

初めてキトラ古墳で発見された朱雀



体験学習館は周辺の景観と一緒に調和する建築施設として整備



キトラ古墳をテーマとした体験型の展示施設を整備